

2020年9月10日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

「グローバル全生物ゲノム株式ファンド(年2回決算型)」を設定

～ 大和証券、エース証券、丸八証券で9月10日取扱開始 ～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、主に世界のゲノム技術に関連するビジネスを行なう企業やゲノム技術の恩恵を受ける企業の株式に投資する追加型投信「グローバル全生物ゲノム株式ファンド(年2回決算型)」を9月10日に設定、運用を開始しました。大和証券株式会社、エース証券株式会社、ならびに丸八証券株式会社が同日から取り扱いを開始しました。

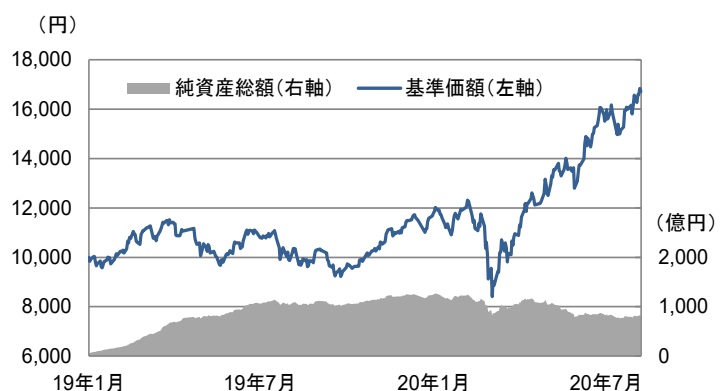
「ゲノム」とは、草花からヒトに至るまで、全生物のDNAに含まれる遺伝情報のことで、「生命の設計図」ともいわれています。AI(人工知能)やスーパーコンピュータの進化などといった技術革新が進み、ゲノムの解析が劇的に容易になるとともに、今回の新型コロナウイルスなどのワクチンの開発、感染拡大の抑制などにも寄与することも期待されています。また、新たなゲノム編集技術「CRISPR/Cas9」の登場によって、ゲノム編集における研究効率が飛躍的に向上しており、高い精度で遺伝子編集を行なうことが可能となりました。こうした「バイオ技術」の中でも近年特に注目されているゲノム解析・編集技術におけるイノベーション＝「ゲノム革命」は、医療や農業、環境など様々な分野において、現在人類が直面している重要課題の解決に向け、大きく貢献することが期待されており、ゲノム関連業界の市場規模は飛躍的に拡大することが予想されます。

こうした世界のゲノム関連ビジネスを行なう企業やゲノム技術の恩恵を受ける企業の株式に投資するファンドとして、日興アセットは今回の新ファンドと同じ投資方針である「グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)」を2019年1月に設定し、現在運用中で、堅調に運用実績を積み重ねています。同ファンドは2020年2月下旬から3月中旬にかけて、コロナショックの影響を受けて下落したものの、その後は、世界各国で大型の財政・金融政策が打ち出されたことや経済活動の再開、新型コロナウイルス向けワクチン・治療薬の開発進展などを受け大きく反発しました。運用開始から1年7カ月あまりで基準価額の騰落率は65%を超えており(基準価額16,715円、8月21日時点)、幅広い投資家のみなさまからご支持いただいた結果、純資産総額は820億円に成長しています(2020年8月21日現在)。

グローバル全生物ゲノム株式ファンド(1年決算型)

【基準価額と純資産総額の推移】

(2019年1月16日(設定日)～2020年8月21日)



※基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の、それぞれ1万口あたりの値です。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

今回新たに運用を開始した「グローバル全生物ゲノム株式ファンド(年2回決算型)」は、この「同(1年決算型)」と同じ投資方針を有し、かつ、決算を年2回行ない、基準価額水準が1万円(1万口当たり)を超えている場合には分配対象額の範囲内で積極的に分配を行ないます^{※1}。これにより、決算頻度や分配方針について選択肢を得たいという投資家のみなさまのニーズにお応えすることが可能となります。当ファンドの個別銘柄の選定においては、イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシーの調査力を活用します。

なお、販売会社と日興アセットは、当ファンドを通じて得られる収益の一部を希少疾患の研究機関や治療現場、支援団体などへ寄付する予定です^{※2}。当ファンドを購入されたお客様は、投資信託を通じた投資リターンをご享受いただけますとともに、寄付スキームを通じた難病患者の側面支援によって、「ゲノム革命」の進展に貢献されることとなります。

日興アセットは、今後も、あらゆる市場環境の変化や動向を迅速に捉え、お客様のニーズに沿った革新的なソリューションの提供および質の高い商品開発を目指します。

以上

※1 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※2 当ファンドの収益から直接寄付するものではありません。

■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時手数料： 購入時の基準価額に対し 3.3% (税抜 3%) 以内
 ※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。
- 換金手数料： ありません。
- 信託財産留保額： ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 運用管理費用(信託報酬)：ファンドの日々の純資産総額に対し年率 1.804% (税抜 1.64%)
 - その他の費用・手数料：目論見書などの作成・交付および計理等の業務にかかる費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率 0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。
 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。
- ※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。
- ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第 37 条の 6 の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

60年に及ぶ実績を誇り、約30の国・地域から集まる人材を世界11カ国・地域に擁して、約200名の運用プロフェッショナルが約22.1兆円^{**}の資産を運用しています。グローバルな視点を活かし、お客様のニーズにお応えする様々な商品の開発を推進するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を常に追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計400社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家の皆様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の2020年3月末現在のデータ。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会